

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月30日(18:00~19:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 小規模 常勤職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	5人	3人	11人

前回の改善計画	ご家族からの小規模に対してのニーズに対しての企画をし、実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事の縮小や開催についての制限があり、取り組みなかった。また、家族や介護者との交流の場が作れない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9	3		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		9	1	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		10	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規利用者のケアプラン、個票は職員全員に提示し、その他の情報もスタッフ会議等で共有している。 ・利用の際には、ご本人の状況により席の配置など過ごしやすさに配慮している。 ・連絡帳に家人からの要望が記載されていたり、送迎時に介護者から話を聞いている。 ・毎月の誕生会を企画したり、ミニ広報誌四ツ宮通信で情報提供をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・改善計画として家族や介護者との交流を上げたが、今年度は感染症の影響を受け、実施できなかった。また、行事の開催においても制限があり、家族に声をかけることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用者の反応などを細かく記録に残し、アセスメントを更新していく。 四ツ宮通信、ホームページのブログの更新を定期的に行い、施設の様子を発信していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 1 月 3 0 日 (18 : 00～19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模常勤職員 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8 人	3 人	人	1 1 人

前回の改善計画	ご利用者の「暮らしの継続」の目標に向かって支援ができるように、体調の変化や介護の方法を早く気づきご家族に伝える等の連携をしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人と家族の利用者の意向にずれがあり、家族の思いが優先されてしまうことの改善には至らなかった。体調の変化や提案などをミーティングにて情報共有することは行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	4	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	6	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	5	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調の変化やより良い援助の方法の提案等の情報共有は、ミーティングで行われている。 本人の目標について、ケアプランで確認している。 普段とちがうときは、ケアマネ、看護師も交えて家人に伝えてもらっている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の思い、意向がなかなか反映できない。 ケアプラン等の提示があり、目標等は理解しているが、家族と本人の意向にズレがあり、家族の思いが優先されてしまう。 体調の著変が家族に伝わりにくいところがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケアプランや介護計画書を共有し、内容に沿った根拠を持ったプログラム作り、個別の対応を行い、定期的な振り返りを行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月30日(18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できるように努めます。
前回の改善計画に対する取組み結果	状態や変化の共有はできており、状態変化による変更などを話し合うことはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	6		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		10	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		10		1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		10	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 状態、変化はミーティングによって共有できている。 介助方法も状態変化により変更する等話し合っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 24時間シートのタイムリーな更新ができなかった。 個人的に、以前の暮らし方を10個以上把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々の記録をもとに、24シートを更新し、ご利用者を知ること意識を持ち、職員間で共有していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月30日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	4人	4人	10人

前回の改善計画  
地域の皆さんが施設に来られるような行事を行っていきます。また、ご利用者や職員も地域の中に参加し、皆さんとの交流の機会を楽しみ地域との関係づくりを続けていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果  
今年度、計画はあったものの新型コロナウイルス感染拡大予防のため、地域の皆さんとの交流の機会自体をつくることができずに終わってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	3	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	4	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	4	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
暮らしの継続のため、通い、泊りを利用してもらっている。利用者との会話の中で、近所の方や身内の方との関係性を知ることができた。毎月介護計画書のアセスメントを行い、振り返りも行った。現在の利用者が使っている地域資源は把握できている。交流したいという気持ちが感じられる。アセスメントを行い、本人の生活スタイルや人間関係を理解できた

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
暮らしを継続するうえで、何が困っていて地域の方に何をしたいかわからないところがある。地域、家族を招き入れての行事や地域の中に出かけていくことはできなかった。コロナウイルスのため、担当者会議ができなかった。泊り利用が長い方が多いため、家族や地域とのつながりが薄くなっている。利用時以外の様子が見えづ、家族からも返答がない時がある。本人と家族の関係がストレスにつながるケースがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ご利用者、ご家族等から生活の様子を聞き取り、生活状況を把握し、関わる人たちと連携を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月30日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	4人	8人	12人

前回の改善計画  
地域の資源について、十日町東地域包括支援センターの人から来てもらい勉強会を開催する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
新型コロナウイルス感染症拡大予防ため、外部の人からきてもらうことが難しく、勉強会の開催はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	8		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	9	2		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	10	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		10	2		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
柔軟なサービス提供ができた。その人に合った通い、訪問、宿泊の提供ができている。かかわりや記録を確認し、変化がある場合はミーティングで共有している。必要な支援が行われるよう、チームでのかかわりを模索した。本人の状態変化などは情報共有できており、柔軟に対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域資源を活用することが少なかった。勉強会ができなかった。本人より家族支援を重視していることがある。泊り、通い 偏りがある。地域の資源について、どのようなものがあるのかわからない。包括支援センター等の勉強会が行われなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
地域の資源について、十日町東地域包括支援センターの人から来てもらい、勉強会を開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 1 月 3 0 日 (18 : 00~19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	2 人	8 人	1 1 人

前回の改善計画  
参加したことのない地域の防災訓練に参加し、地域でどんな方法で避難をしているか把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
今年は地域と関わる機会が持てず、訓練の参加等連携を図ることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		3		6	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3		7	1 0
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	2	8	1 1
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	2	8	1 1

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
包括支援センターの事例検討や民生委員と交流できた。ケアマネが参加したものは、情報提供があったものもある。ケアマネが他のサービス機関と連絡などを入れている。電話や照会文書等で連携している。利用者退院時には、カンファレンスに参加できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
介護職員は、会議やイベントに参加できなかった。訪問看護との会議が持てていない。地域の人を呼んだり、外出することができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
四ツ宮公園の草取りなどを行い、事業所から外に出る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 1 月 3 0 日 (18 : 00~19 : 00)

7. 運営

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	3 人	7 人	11 人

前回の改善計画  
スタッフの介護の技術や活動を地域の人に伝える機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果  
感染症対策の点から、従来計画していた形で地域の人と関わる機会を持つことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4	5	3	1 2
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9		2	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	2	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	5	5	1 2

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
四ツ宮通信や広報紙を定期的に発行し、家族に情報発信をした。運営推進会議などで意見を聞いている。ユニット会議やほかの会議にも反映させている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
感染症対策の点から、今年は地域との交流が難しかった。交流の機会が持てなかった。積極的に地域との関りを持ってない。家人の意見も確認したいが、伝わっているのかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
スタッフの介護の技術や活動を地域の人に伝える機会を作る。事業所の様子や役割を知ってもらうよう、ホームページの活用、紙面による情報発信を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 1 月 3 0 日 (18 : 00~19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	8 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画  
スタッフ全員が小さいことでも問題意識を持ち、ひやりはつとを書く。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ヒヤリハットの記入や対策の共有はでき、振り返りや検討も定期的に行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		8	3	1	1 2
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		6	4	2	1 2
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	8	1 1
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		9	3		1 2

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
事故を予防するため、ヒヤリハットの記入、対策の共有はできていた。感染対策の研修を事業所や外部で行い、参加できた。リスクマネジメントには取り組みあり振り返り検討会など行われている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
研修の機会が少なく、参加できなかった。同じようなヒヤリハットが何件もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
どの段階でヒヤリハットを出すか職員間で合わせていく。ヒヤリハットの予防から、対策を立て、事故につなげない体制をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年11月30日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模多機能 常勤職員 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	7人	4人	人	11人

前回の改善計画  
認知症の対応などを理解して、気持ちのゆとりを持ってケアを行います。

前回の改善計画に対する取組み結果  
不適切ケアについて、定期的に会議等で確認する機会を持っている。スタッフ同士で意識し合っているが、まだ十分とは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6			12
②	虐待は行われていない	5	7			12
③	プライバシーが守られている	1	10	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	8	1		11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	9	1		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
身体拘束が発生していない。不適切ケアについても話し合いをしている。目に見える形での身体拘束はなかった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
利用者自ら話すことがある。申し送りで、大きな声で話すことがあり、不快を与えているかもしれない。言葉遣いについて発する側と受け取る側で食い違いがあった。言葉遣いなど自分が気づかないところで不快な思いをさせてしまっているのではと感じることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
事例など具体的なケースをもとに、各自で体験をしあい、ケアの仕方を振り返る。